



L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit

キット 安全情報シート (SIS)

作成日 (JP): 2022/04/12 改訂日 (JP): 2022/04/12 バージョン (JP): 1.0

第1項: キットID

1.1 キット識別子

製品名 : L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit
製品コード : K-LARGE

1.2 キット安全情報シートの供給者の詳細

Megazyme
Bray Business Park
A98 YV29 Bray - Ireland
T +353 12861220 - F +353 12861264
cs@megazyme.com - www.megazyme.com

第2項: 一般事項

本製品は、複数の個別包装コンポーネントで構成されるキットです
本キットは適切な試験手順に従って取り扱い、適当な保護具を使用してください

第3項: キット内容

名前	概要	重量 or 数量	量	ユニット	GHS JP 分類
L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)	Buffer		1	pcs (pcs)	皮膚腐食性／刺激性 区分2, H315 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2, H319 皮膚感作性 区分1, H317
L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)	Reagent		1	pcs (pcs)	皮膚腐食性／刺激性 区分2, H315 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2, H319
L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 2)	Reagent		1	pcs (pcs)	区分に該当しない
L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 3)	Reagent		1	pcs (pcs)	区分に該当しない
L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 4)	Reagent		1	pcs (pcs)	区分に該当しない
L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 6)	Reagent		1	pcs (pcs)	区分に該当しない

第4項: 一般的助言

データなし

第5項: 取扱いの指針

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。
: 涼しいところに置くこと。
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
: 個人用保護具を着用する。

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit

キット 安全情報シート (SIS)

第6項: 応急措置

眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。

第7項: 火災時の措置

消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器 完全防護服
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。

第8項 輸送上の注意

国連勧告(UN RTDG)	
国連番号(UN RTDG)	: 非該当
正式品名 (UN RTDG)	: 非該当
容器等級(UN RTDG)	: 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 非該当

国内規制	
その他の情報	: 補足情報なし

第9項: その他の情報

データなし



安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2022/02/16 改訂日: 2022/02/16 バージョン: 1.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)
製品コード : K-LARGE (Bottle 1)

会社情報

製造業者

Megazyme
A98 YV29
Ireland County Wicklow Bray Bray Business Park
T +353 12861220 - F +353 12861264
cs@megazyme.com - www.megazyme.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2
	皮膚感作性	区分1

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)	: 警告
危険有害性 (GHS JP)	: 皮膚刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 強い眼刺激

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

: 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
廃棄 : 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
Triethanolamine	5 - 10	-	-	-	102-71-6
imidazole	1 - 5	C3H4N2	(5)-381	既存化学物質	288-32-4
KETOGLUTARIC ACID	0.1 - 1	-	-	-	328-50-7
sodium azide	< 0.1	-	-	-	26628-22-8

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	： ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	： 皮膚は多量の水で洗浄する。 汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合	： 水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	： 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 皮膚に付着した場合	： 刺激性。
症状/損傷 眼に入った場合	： 眼刺激。

医師に対する特別注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	： 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

5. 火災時の措置

適切な消火剤	： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	： データなし
火災時の危険有害性分解生成物	： 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火時の保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

応急処置	： 出勤は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。
------	-------------------------------

緊急対応者

保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。
-----	--

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
個人用保護具を着用する。
皮膚、眼との接触を避ける。

接触回避 : データなし
衛生対策 : 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 施設して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具 : [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
防塵マスク	タイプ P1	液体粒子に対する保護	EN 143 EN 149

手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR)	3 (> 60分)		2 (< 1.5)	EN ISO 374

眼の保護具 : 安全メガネ

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ	ドロップレット	透明色 サイドシールド付き	EN 174

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
実験用白衣	

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	:
臭い	: なし
pH	: データなし
融点	: 非該当
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 非該当
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: Soluble in water。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7節参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: データなし
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入)	: データなし

Triethanolamine (102-71-6)	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg (Rat; Equivalent or similar to OECD 401; Experimental value; 6400 mg/kg bodyweight; Rat)
LD50 経口	8000 mg/kg bodyweight
LD50 経皮 ラット	> 5000 mg/kg (Rat)
LD50 経皮 ウサギ	> 10000 mg/kg (Rabbit; Experimental value; Equivalent or similar to OECD 402; >2000 mg/kg bodyweight; Rabbit)
LD50 経皮	> 10000 mg/kg bodyweight
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 1.8 mg/l
imidazole (288-32-4)	
急性毒性 (経口)	ラットのLD50値は960～970 mg/kg（SIDS（2004））に基づき区分4とした。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

imidazole (288-32-4)	
急性毒性 (経皮)	データなし。
急性毒性 (吸入:気体)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし。
LD50 経口	960 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性 : 皮膚刺激

imidazole (288-32-4)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギの皮膚に水と共に本物質80%含むペースト状被験物質0.5 mLをを4時間適用した試験において、一夜で重度の紅斑が発生、観察期間終了の8日目まで持続し、また、軽度な壊死が一夜で現れ、観察期間終了時には全層にわたる壊死が病理学的に認められた。その結果、本物質には腐食性あり (corrosive) との評価 (SIDS (2004)) に基づき区分1とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 強い眼刺激

imidazole (288-32-4)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギの眼に未希釈の試験物質100 mgを適用した試験 (OECD TG405; GLP) において、刺激性指数MMAS (AOIに相当) が59.3で刺激性あり (irritating) との評価結果 (SIDS (2004)) に基づき、区分2Aとした。また、ウサギを用いほぼ同じ条件で実施された別の試験 (Federal Register 38 No. 178) でも、刺激指数は57.4で刺激性あり (irritating) と報告され (SIDS (2004)) 、その結果から分類も区分2Aとなる。

呼吸器感作性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
呼吸器感作性	データなし。

皮膚感作性 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

imidazole (288-32-4)	
皮膚感作性	データなし。

生殖細胞変異原性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
生殖細胞変異原性	マウスに単回経口投与による骨髄を用いた小核試験 (OECD TG 474 GLP) における陰性結果 (SIDS (2004)) に基づき区分外とした。なお、in vitro試験としてはエームス試験で陰性 (SIDS (2004)) が報告されている。

発がん性 : データなし

Triethanolamine (102-71-6)	
IARC グループ	分類できない

imidazole (288-32-4)	
発がん性	データなし。

生殖毒性 : データなし

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

imidazole (288-32-4)	
生殖毒性	【分類根拠】（１）から、母動物に軽微な一般毒性影響がみられる用量で胎児の主に外表及び骨格に奇形の発生増加が明確にみられたことから、区分1Bとした。旧分類からECHA CLPの分類が追加されたため、生殖毒性項目のみ見直した（2021年）。【根拠データ】（１）雌ラットを用いた強制経口投与による発生毒性試験（妊娠6～19日）において、母動物に一般毒性影響（体重増加抑制、摂餌量減少、流産（6/25例）、膣出血（1/25例））がみられる高用量（180 mg/kg/day）で、全胚吸収雌（3/25例）、着床後胚損失率増加（平均43% vs 対照群8%）、腹当たりの生存胎児比率の減少（6.3% vs 対照群9%）がみられた。また、胎児に外表奇形（口蓋裂、全身浮腫）、骨格奇形（短い肩甲骨、橈骨/尺骨湾曲、胸骨分節の位置異常・二分胸椎分節等）など奇形発生の増加（全体の発生率：12%（胎児当たり）、11%（腹当たり））がみられた。中用量以下（60及び20 mg/kg/day）でも奇形児は散見されたが、奇形発生率は対照群と差がなかったとの報告がある（EU REACH CoRAP (2018)、ECHA RAC Opinion (Background Doc.) (2013)、AICIS (IBNICNAS) IMAP (2017)）。【参考データ等】（２）ラット及びマウスの胚を用いたin vitro全胚培養試験（in vitro whole embryo culture test）において、本物質30及び60 micro g/mLの添加濃度で、濃度依存的な胎児死亡（60 micro g/mLで最大ラット37.5%、マウスで83% vs 対照群0%）及び異常（脳サイズの減少、明瞭な水腫：60 micro g/mLで最大ラット80%、マウス100% vs 対照群0%）の増加がみられたとの報告がある（EU REACH CoRAP (2018)、ECHA RAC Opinion (Background Doc.) (2013)）。（３）ラットを用いた90日間強制経口投与試験において、雌雄の生殖器官の病理組織検査、精子検査及び性周期解析結果からは受胎能に悪影響を及ぼす可能性の所見は最高用量の180 mg/kg/dayまで検出されなかったとの報告がある（EU REACH CoRAP (2018)、ECHA RAC Opinion (Background Doc.) (2013)、AICIS IMAP (2017)）。（４）EUではRepr. 1Bに分類している（CLP 分類結果 (Accessed Nov. 2021)）。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
imidazole (288-32-4)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットに500～5000 mg/kgを経口投与による急性毒性試験（LD50 = 960-970 mg/kg）で投与1時間以内に痙攣、平衡異常、側臥位、死亡、生存例では鈍麻、軽微な平衡異常、呼吸促進が観察され、マウスでは1000 mg/kgを経口投与により15～30分で不規則呼吸、立毛、一部の動物では閉瞼、さらに2000mg/kgでは1例の死亡を含め一部ではうずくまりが見られた（SIDS（2004））。なお、ラットに対し腹腔内投与であるが、150 mg/kgで振戦の症状も報告されている（SIDS（2004））。以上より、ガイダンス値区分2に相当する用量範囲で観察された一般症状に基づき、区分2（神経系）とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

imidazole (288-32-4)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットを用いた90日間反復経口投与試験（OECD TG 408; GLP）における有意な変化として、高用量180 mg/kg/dayの雌雄で小葉中心性肝細胞肥大、雄で腎皮質の近位尿細管における α 2-ミクログロブリンの蓄積が報告されているが、用量がガイダンス値範囲を超えている（SIDS（2004））。一方、ラットに28日間反復経口投与した試験では、125 mg/kg/day（90日換算：38.9 mg/kg/day）以上でヘモグロビンおよびヘマトクリット値の低下、250 mg/kg/day（90日換算：77.8 mg/kg/day）以上で赤血球数の低下、また、125 mg/kg/day以上で肝腫大、250 mg/kg/day以上で雄の腎臓重量の増加がそれぞれ報告されている（SIDS（2004））。これらの所見について、腎臓への影響は雄ラット特有の α 2-ミクログロブリン腎症の可能性が高く分類根拠とせず、28日間反復投与での血液指標の変化も、国際的テストガイドラインに従ってその後実施された90日反復投与試験において見出されていないことから分類根拠としなかった。肝臓については、90日間投与でガイダンス値範囲を超える180 mg/kg/dayで小葉中心性肝細胞肥大、28日間投与の125 mg/kg/day（90日換算：38.9 mg/kg/day）以上で肝腫大、さらに500 mg/kg/day（155.6 mg/kg/day）の雄でクレアチニンとALTの増加がそれぞれ報告（SIDS（2004））されているが、ガイダンス値上限（100 mg/kg/day）付近での悪影響の有無についてはデータ不十分で判断できない。従って「分類できない」とした。

誤えん有害性 : データなし

Triethanolamine (102-71-6)	
動粘性率	53.381 mm ² /s
imidazole (288-32-4)	
誤えん有害性	データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性 短期（急性） : データなし

水生環境有害性 長期（慢性） : データなし

Triethanolamine (102-71-6)	
LC50 - 魚 [1]	11800 mg/l
LC50 - 魚 [2]	450 - 1000 mg/l (LC50; 96 h; Lepomis macrochirus)
EC50 - 他の水生生物 [1]	2038 mg/l waterflea
EC50 - 他の水生生物 [2]	216 mg/l
BCF - 魚 [1]	< 3.9 (Cyprinus carpio; TEST DURATION: 6 WEEKS)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.53 - -1.32
imidazole (288-32-4)	
水生環境有害性 短期（急性）	藻類、甲殻類及び魚類において100 mg/Lで急性毒性が報告されていない（SIDS, 2005）ことから、区分外とした。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

imidazole (288-32-4)	
水生環境有害性 長期（慢性）	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり（BODによる分解度：90%（既存点検, 2003）、藻類（Scenedesmus subspicatus）の72時間NOEC=25 mg/L（SIDS, 2005）から、区分外とする。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、難水溶性ではなく（水溶解度=159100 mg/L, PHYSPROP Database（2009））、甲殻類及び魚類の急性分類が区分外である（SIDS, 2005）ことから、区分外となる。以上の結果から、区分外とした。
NOEC 藻類 慢性	25 mg/l

残留性・分解性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)	
残留性・分解性	データなし
Triethanolamine (102-71-6)	
残留性・分解性	空气中で光分解。水中で容易に生分解する。
生化学的酸素要求量(BOD)	0.02 g O ₂ /g substance
化学的酸素要求量(COD)	1.5 g O ₂ /g substance
ThOD	2.04 g O ₂ /g substance
BOD (ThODの割合)	0.02 % ThOD

生体蓄積性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)	
生体蓄積性	データなし
Triethanolamine (102-71-6)	
生体蓄積性	生物蓄積性の可能性はほとんどなし。
BCF - 魚 [1]	< 3.9 (Cyprinus carpio; TEST DURATION: 6 WEEKS)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.53 - -1.32

土壌中の移動性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)	
土壌中の移動性	データなし
Triethanolamine (102-71-6)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.53 - -1.32

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

14. 輸送上の注意

UN RTDGに準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)	: 非該当
正式品名 (UN RTDG)	: 非該当
容器等級(UN RTDG)	: 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 非該当

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

データなし

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。



安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 2)

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2022/02/16 改訂日: 2022/02/16 バージョン: 1.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 2)
製品コード : K-LARGE (Bottle 2)

会社情報

製造業者

Megazyme

A98 YV29

Ireland County Wicklow Bray Bray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

cs@megazyme.com - www.megazyme.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
3-cyclohexylaminopropane-1-sulphonic acid, CAPS buffer	20 - 30	-	-	-	1135-40-6

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤 : データなし
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 2)

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者
応急処置

: 漏出エリアを換気する。

緊急対応者
保護具

: 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項
環境に対する注意事項

: 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
浄化方法
その他の情報

: 製品は機械的に回収する。
: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
安全取扱注意事項

: データなし
: 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。

接触回避
衛生対策

: データなし
: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件
安全な容器包装材料

: 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
: データなし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具

: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
防塵マスク	タイプ P1	固体粒子に対する保護	EN 143 EN 149

手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR)	3 (> 60分)		2 (< 1.5)	EN ISO 374

眼の保護具 : 安全メガネ

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 2)

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ	粉じん	透明色 サイドシールド付き	EN 174

皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
実験用白衣	

環境へのばく露の制限と監視：環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 固体
色	：
臭い	： なし
pH	： データなし
融点	： データなし
凝固点	： 非該当
沸点	： データなし
引火点	： 非該当
自然発火点	： 非該当
分解温度	： データなし
可燃性	： 不燃性
蒸気圧	： データなし
相対密度	： データなし
密度	： データなし
相対ガス密度	： データなし
溶解度	： Soluble in water。
n-オクタノール/水分分配係数 (Log Pow)	： データなし
爆発限界 (vol %)	： 非該当
動粘性率	： 非該当
粒子特性	： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	： 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	： 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	： 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	： 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7節参照）。
混触危険物質	： データなし
危険有害な分解生成物	： 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	： データなし
急性毒性 (経皮)	： データなし
急性毒性 (吸入)	： データなし
皮膚腐食性／刺激性	： データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： データなし
呼吸器感作性	： データなし
皮膚感作性	： データなし
生殖細胞変異原性	： データなし

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 2)

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 2)	
動粘性率	非該当

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期（急性）	: データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	: データなし

残留性・分解性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 2)	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 2)	
生体蓄積性	データなし

土壤中の移動性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 2)	
土壤中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	: データなし
-----------	---------

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
------	-----------------------------------

14. 輸送上の注意

UN RTDGに準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)	: 非該当
正式品名 (UN RTDG)	: 非該当
容器等級(UN RTDG)	: 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 非該当

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 2)

*** DRAFT ***

JIS Z 7253 : 2019に準拠

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質
非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

データなし

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。



安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2022/02/16 改訂日: 2022/02/16 バージョン: 1.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 3)
製品コード : K-LARGE (Bottle 3)

会社情報

製造業者

Megazyme

A98 YV29

Ireland County Wicklow Bray Bray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

cs@megazyme.com - www.megazyme.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
lithium sulfate	10 - 20	Li ₂ SO ₄	-	-	10377-48-7
sodium azide	< 0.1	-	-	-	26628-22-8

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合 : 医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 眼に入った場合 : 眼刺激。

医師に対する特別注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

5. 火災時の措置

適切な消火剤	： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	： データなし
火災時の危険有害性分解生成物	： 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火時の保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

応急処置	： 漏出エリアを換気する。 皮膚、眼との接触を避ける。
------	--------------------------------

緊急対応者

保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。
-----	--

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	： 環境への放出を避けること。
------------	-----------------

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法	： 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
その他の情報	： 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	： データなし
安全取扱注意事項	： 作業所の十分な換気を確保する。 皮膚、眼との接触を避ける。 個人用保護具を着用する。
接触回避	： データなし
衛生対策	： この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件	： 換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。
安全な容器包装材料	： データなし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	： 作業所の十分な換気を確保する。
保護具	
呼吸用保護具	： 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

機器	フィルタタイプ	条件	規格
防塵マスク	タイプ P1	液体粒子に対する保護	EN 143 EN 149

手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR)	3 (> 60分)		2 (< 1.5)	EN ISO 374

眼の保護具 : 安全メガネ

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ	ドロップレット	透明色 サイドシールド付き	EN 174

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
実験用白衣	

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 乳白色
臭い	: なし
pH	: データなし
融点	: 非該当
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 非該当
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: Soluble in water。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7節参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : データなし
急性毒性 (経皮) : データなし
急性毒性 (吸入) : データなし

lithium sulfate (10377-48-7)	
LD50 経口 ラット	580 mg/kg ラット
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期 (急性) : データなし
水生環境有害性 長期 (慢性) : データなし

残留性・分解性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 3)	
残留性・分解性	データなし
lithium sulfate (10377-48-7)	
残留性・分解性	生分解性:非該当。
生化学的酸素要求量(BOD)	非該当
化学的酸素要求量(COD)	非該当
ThOD	非該当
BOD (ThODの割合)	非該当

生体蓄積性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 3)	
生体蓄積性	データなし
lithium sulfate (10377-48-7)	
生体蓄積性	決定していない。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

土壤中の移動性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 3)

土壤中の移動性	データなし
---------	-------

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。

14. 輸送上の注意

UN RTDGに準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当

正式品名 (UN RTDG) : 非該当

容器等級(UN RTDG) : 非該当

輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

データなし

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。



安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2022/02/16 改訂日: 2022/02/16 バージョン: 1.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 4)
製品コード : K-LARGE (Bottle 4)

会社情報

製造業者

Megazyme

A98 YV29

Ireland County Wicklow Bray Bray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

cs@megazyme.com - www.megazyme.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
lithium sulfate	10 - 20	Li2SO4	-	-	10377-48-7
sodium azide	< 0.1	-	-	-	26628-22-8
Urease	0.1 - 1	-	-	-	9002-13-5

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合

: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸器系疾患を発症した場合: 毒物センターまたは医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合

: 皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合

: 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合

: 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

症状/損傷 眼に入った場合

: 眼刺激。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

医師に対する特別注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤 : データなし
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

応急処置 : 漏出エリアを換気する。
皮膚、眼との接触を避ける。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
皮膚、眼との接触を避ける。
個人用保護具を着用する。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
接触回避 : データなし
衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

保護具

呼吸用保護具 : [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
防塵マスク	タイプ P1	液体粒子に対する保護	EN 143 EN 149

手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR)	3 (> 60分)		2 (< 1.5)	EN ISO 374

眼の保護具 : 安全メガネ

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ	ドロップレット	透明色 サイドシールド付き	EN 174

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
実験用白衣	

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 乳白色
臭い	: なし
pH	: データなし
融点	: 非該当
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 非該当
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: Soluble in water。
n-オクタノール/水分分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7節参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: データなし
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入)	: データなし

lithium sulfate (10377-48-7)	
LD50 経口 ラット	580 mg/kg ラット
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期（急性）	: データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	: データなし

残留性・分解性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 4)	
残留性・分解性	データなし
lithium sulfate (10377-48-7)	
残留性・分解性	生分解性:非該当。
生化学的酸素要求量(BOD)	非該当
化学的酸素要求量(COD)	非該当
ThOD	非該当
BOD (ThODの割合)	非該当

生体蓄積性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 4)	
生体蓄積性	データなし
lithium sulfate (10377-48-7)	
生体蓄積性	決定していない。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

土壤中の移動性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 4)

土壤中の移動性	データなし
---------	-------

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。

14. 輸送上の注意

UN RTDGに準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当

正式品名 (UN RTDG) : 非該当

容器等級(UN RTDG) : 非該当

輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

データなし

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。



安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2022/02/16 改訂日: 2022/02/16 バージョン: 1.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)
製品コード : K-LARGE (Bottle 5)

会社情報

製造業者

Megazyme

A98 YV29

Ireland County Wicklow Bray Bray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

cs@megazyme.com - www.megazyme.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性 皮膚腐食性／刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 警告
危険有害性 (GHS JP) : 皮膚刺激
強い眼刺激

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置 : 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
lithium sulfate	10 - 20	Li2SO4	-	-	10377-48-7
imidazole	1 - 5	C3H4N2	(5)-381	既存化学物質	288-32-4

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般
- 吸入した場合
- 皮膚に付着した場合
- 眼に入った場合
- 飲み込んだ場合
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚は多量の水で洗浄する。
- 汚染された衣類を脱ぐこと。
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 水で数分間注意深く洗うこと。
- コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 皮膚に付着した場合
- 症状/損傷 眼に入った場合
- ： 刺激性。
- ： 眼刺激。

医師に対する特別注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療
- ： 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤
- 使ってはならない消火剤
- 火災時の危険有害性分解生成物
- 消火時の保護具
- ： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- ： データなし
- ： 有毒な煙を放出する可能性がある。
- ： 適切な保護具を着用して作業する。
- 自給式呼吸器。
- 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

- 応急処置
- ： 出勤は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。

緊急対応者

- 保護具
- ： 適切な保護具を着用して作業する。
- 詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項
- ： 環境への放出を避けること。
- 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
個人用保護具を着用する。
皮膚、眼との接触を避ける。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
- 安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

- 呼吸用保護具 : [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
防塵マスク	タイプ P1	液体粒子に対する保護	EN 143 EN 149

- 手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR)	3 (> 60分)		2 (< 1.5)	EN ISO 374

- 眼の保護具 : 安全メガネ

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ	ドロップレット	透明色 サイドシールド付き	EN 174

- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
実験用白衣	

- 環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 乳白色
臭い	: なし
pH	: データなし
融点	: 非該当
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 非該当
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: Soluble in water。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7節参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: データなし
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入)	: データなし

lithium sulfate (10377-48-7)	
LD50 経口 ラット	580 mg/kg ラット
imidazole (288-32-4)	
急性毒性 (経口)	ラットのLD50値は960～970 mg/kg（SIDS（2004））に基づき区分4とした。
急性毒性 (経皮)	データなし。
急性毒性 (吸入:気体)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし。
LD50 経口	960 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	: 皮膚刺激

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

imidazole (288-32-4)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギの皮膚に水と共に本物質80%含むペースト状被験物質0.5 mLをを4時間適用した試験において、一夜で重度の紅斑が発生、観察期間終了の8日目まで持続し、また、軽度の壊死が一夜で現れ、観察期間終了時には全層にわたる壊死が病理学的に認められた。その結果、本物質には腐食性あり（corrosive）との評価（SIDS（2004））に基づき区分1とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 強い眼刺激

imidazole (288-32-4)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギの眼に未希釈の試験物質100 mgを適用した試験（OECD TG405; GLP）において、刺激性指数MMAS（AOIに相当）が59.3で刺激性あり（irritating）との評価結果（SIDS（2004））に基づき、区分2Aとした。また、ウサギを用いほぼ同じ条件で実施された別の試験（Federal Register 38 No. 178）でも、刺激指数は57.4で刺激性あり（irritating）と報告され（SIDS（2004））、その結果から分類も区分2Aとなる。

呼吸器感作性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
呼吸器感作性	データなし。

皮膚感作性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
皮膚感作性	データなし。

生殖細胞変異原性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
生殖細胞変異原性	マウスに単回経口投与による骨髄を用いた小核試験（OECD TG 474 GLP）における陰性結果（SIDS（2004））に基づき区分外とした。なお、in vitro試験としてはエームス試験で陰性（SIDS（2004））が報告されている。

発がん性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
発がん性	データなし。

生殖毒性 : データなし

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

imidazole (288-32-4)	
生殖毒性	【分類根拠】（１）から、母動物に軽微な一般毒性影響がみられる用量で胎児の主に外表及び骨格に奇形の発生増加が明確にみられたことから、区分1Bとした。旧分類からECHA CLPの分類が追加されたため、生殖毒性項目のみ見直した（2021年）。【根拠データ】（１）雌ラットを用いた強制経口投与による発生毒性試験（妊娠6～19日）において、母動物に一般毒性影響（体重増加抑制、摂餌量減少、流産（6/25例）、膣出血（1/25例））がみられる高用量（180 mg/kg/day）で、全胚吸収雌（3/25例）、着床後胚損失率増加（平均43% vs 対照群8%）、腹当たりの生存胎児比率の減少（6.3% vs 対照群9%）がみられた。また、胎児に外表奇形（口蓋裂、全身浮腫）、骨格奇形（短い肩甲骨、橈骨/尺骨湾曲、胸骨分節の位置異常・二分胸椎分節等）など奇形発生の増加（全体の発生率：12%（胎児当たり）、11%（腹当たり））がみられた。中用量以下（60及び20 mg/kg/day）でも奇形児は散見されたが、奇形発生率は対照群と差がなかったとの報告がある（EU REACH CoRAP (2018)、ECHA RAC Opinion (Background Doc.) (2013)、AICIS (IBNICNAS) IMAP (2017)）。【参考データ等】（２）ラット及びマウスの胚を用いたin vitro全胚培養試験（in vitro whole embryo culture test）において、本物質30及び60 micro g/mLの添加濃度で、濃度依存的な胎児死亡（60 micro g/mLで最大ラット37.5%、マウスで83% vs 対照群0%）及び異常（脳サイズの減少、明瞭な水腫：60 micro g/mLで最大ラット80%、マウス100% vs 対照群0%）の増加がみられたとの報告がある（EU REACH CoRAP (2018)、ECHA RAC Opinion (Background Doc.) (2013)）。（３）ラットを用いた90日間強制経口投与試験において、雌雄の生殖器官の病理組織検査、精子検査及び性周期解析結果からは受胎能に悪影響を及ぼす可能性の所見は最高用量の180 mg/kg/dayまで検出されなかったとの報告がある（EU REACH CoRAP (2018)、ECHA RAC Opinion (Background Doc.) (2013)、AICIS IMAP (2017)）。（４）EUではRepr. 1Bに分類している（CLP 分類結果 (Accessed Nov. 2021)）。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データなし

imidazole (288-32-4)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットに500～5000 mg/kgを経口投与による急性毒性試験（LD50 = 960-970 mg/kg）で投与1時間以内に痙攣、平衡異常、側臥位、死亡、生存例では鈍麻、軽微な平衡異常、呼吸促進が観察され、マウスでは1000 mg/kgを経口投与により15～30分で不規則呼吸、立毛、一部の動物では閉瞼、さらに2000mg/kgでは1例の死亡を含め一部ではうずくまりが見られた（SIDS（2004））。なお、ラットに対し腹腔内投与であるが、150 mg/kgで振戦の症状も報告されている（SIDS（2004））。以上より、ガイダンス値区分2に相当する用量範囲で観察された一般症状に基づき、区分2（神経系）とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

imidazole (288-32-4)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットを用いた90日間反復経口投与試験（OECD TG 408; GLP）における有意な変化として、高用量180 mg/kg/dayの雌雄で小葉中心性肝細胞肥大、雄で腎皮質の近位尿細管における α 2-ミクログロブリンの蓄積が報告されているが、用量がガイダンス値範囲を超えている（SIDS（2004））。一方、ラットに28日間反復経口投与した試験では、125 mg/kg/day（90日換算：38.9 mg/kg/day）以上でヘモグロビンおよびヘマトクリット値の低下、250 mg/kg/day（90日換算：77.8 mg/kg/day）以上で赤血球数の低下、また、125 mg/kg/day以上で肝腫大、250 mg/kg/day以上で雄の腎臓重量の増加がそれぞれ報告されている（SIDS（2004））。これらの所見について、腎臓への影響は雄ラット特有の α 2-ミクログロブリン腎症の可能性が高く分類根拠とせず、28日間反復投与での血液指標の変化も、国際的テストガイドラインに従ってその後実施された90日反復投与試験において見出されていないことから分類根拠としなかった。肝臓については、90日間投与でガイダンス値範囲を超える180 mg/kg/dayで小葉中心性肝細胞肥大、28日間投与の125 mg/kg/day（90日換算：38.9 mg/kg/day）以上で肝腫大、さらに500 mg/kg/day（155.6 mg/kg/day）の雄でクレアチニンとALTの増加がそれぞれ報告（SIDS（2004））されているが、ガイダンス値上限（100 mg/kg/day）付近での悪影響の有無についてはデータ不十分で判断できない。従って「分類できない」とした。

誤えん有害性 : データなし

imidazole (288-32-4)	
誤えん有害性	データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性 短期（急性） : データなし

水生環境有害性 長期（慢性） : データなし

imidazole (288-32-4)	
水生環境有害性 短期（急性）	藻類、甲殻類及び魚類において100 mg/Lで急性毒性が報告されていない（SIDS, 2005）ことから、区分外とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり（BODによる分解度：90%（既存点検, 2003）、藻類（Scenedesmus subspicatus）の72時間NOEC＝25 mg/L（SIDS, 2005）から、区分外とする。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、難水溶性ではなく（水溶解度＝159100 mg/L, PHYSPROP Database（2009））、甲殻類及び魚類の急性分類が区分外である（SIDS, 2005）ことから、区分外となる。以上の結果から、区分外とした。
NOEC 藻類 慢性	25 mg/l

残留性・分解性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)	
残留性・分解性	データなし

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

lithium sulfate (10377-48-7)	
残留性・分解性	生分解性:非該当。
生化学的酸素要求量(BOD)	非該当
化学的酸素要求量(COD)	非該当
ThOD	非該当
BOD (ThODの割合)	非該当

生体蓄積性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)	
生体蓄積性	データなし
lithium sulfate (10377-48-7)	
生体蓄積性	決定していない。

土壤中の移動性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)	
土壤中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。

14. 輸送上の注意

UN RTDGに準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当
正式品名 (UN RTDG) : 非該当
容器等級(UN RTDG) : 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

15. 適用法令

国内法令

データなし

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある。製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。



安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 6)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2022/02/16 改訂日: 2022/02/16 バージョン: 1.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 6)
製品コード : K-LARGE (Bottle 6)

会社情報

製造業者

Megazyme

A98 YV29

Ireland County Wicklow Bray Bray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

cs@megazyme.com - www.megazyme.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
Ammonia,	< 0.1	-	-	-	1336-21-6, 7664-41-7,
sodium azide	< 0.1	-	-	-	26628-22-8

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤 : データなし
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 6)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者
応急処置 : 漏出エリアを換気する。

緊急対応者
保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項
環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。

接触回避 : データなし
衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管
安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。

安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具
呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
防塵マスク	タイプ P1	液体粒子に対する保護	EN 143 EN 149

手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR)	3 (> 60分)		2 (< 1.5)	EN ISO 374

眼の保護具 : 安全メガネ

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 6)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ	ドロップレット	透明色 サイドシールド付き	EN 174

皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
実験用白衣	

環境へのばく露の制限と監視：環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	：液体
色	：無色
臭い	：なし
pH	：データなし
融点	：非該当
凝固点	：データなし
沸点	：データなし
引火点	：データなし
自然発火点	：データなし
分解温度	：データなし
可燃性	：非該当
蒸気圧	：データなし
相対密度	：データなし
密度	：データなし
相対ガス密度	：データなし
溶解度	：Soluble in water。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	：データなし
爆発限界 (vol %)	：データなし
動粘性率	：データなし
粒子特性	：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	：通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	：通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	：通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	：推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7節参照）。
混触危険物質	：データなし
危険有害な分解生成物	：通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	：データなし
急性毒性 (経皮)	：データなし
急性毒性 (吸入)	：データなし
皮膚腐食性／刺激性	：データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：データなし
呼吸器感作性	：データなし
皮膚感作性	：データなし
生殖細胞変異原性	：データなし

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 6)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期（急性）	: データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	: データなし

残留性・分解性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 6)	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 6)	
生体蓄積性	データなし

土壤中の移動性

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 6)	
土壤中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	: データなし
-----------	---------

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
------	-----------------------------------

14. 輸送上の注意

UN RTDGに準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)	: 非該当
正式品名 (UN RTDG)	: 非該当
容器等級(UN RTDG)	: 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 非該当

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

安全データシート

L-Arginine/Urea/Ammonia Assay Kit (Bottle 6)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

データなし

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。